

信州大学医学部附属病院 産科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「常位胎盤早期剝離における胎盤の病理組織所見の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	常位胎盤早期剝離における胎盤の病理組織所見の検討
所属(診療科等)	信州大学病理組織学教室
研究責任者(職名)	立石文子(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	病理組織所見から常位胎盤早期剝離の病態を反映する変化を明らかにすることを目的とした研究で、病態解明に貢献すると考えられます。
対象となる方	2020年1月1日から2025年12月31日の期間に当院で医療を受け、胎盤を病理診断に提出された以下の方。 ① 常位胎盤早期剝離 ② 妊娠経過は正常であったが陣痛発来後の経過などから胎盤精査が必要とされた方。 ※本研究の対象になるか不明で不参加を希望される方はお問い合わせください。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／病理組織など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、病理組織学的所見と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 立石文子(病理組織学・助教) 電話: 026-37-2607

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術

雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。